

会 議 録

1 会議名

平成27年度第1回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告事項（公開）

- ・第5次上越市行政改革推進計画等、各種計画の策定について
- ・施設使用料の減免基準の見直しについて

（2）地域活動支援事業について（公開）

- ・提案状況の説明
- ・提案事業に関する疑問点の洗い出し

3 開催日時

平成27年4月28日（火）午後6時30分から午後8時35分まで

4 開催場所

公民館新道分館 2階 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：秋山茂、飯塚計一、岡田竹一、金井秀雄、金子俊一、田中正一、塚田忠次、
船崎正保、保坂幸二、松苗ひとみ、松山秋夫
- ・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長、小林主事
行政改革推進課 佐々木課長、竹下係長
財政課 柳澤課長

8 発言の内容

1 開 会

【恩田係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・欠席委員：岩下副会長、上野委員、金田委員

2 新任中部まちづくりセンター長挨拶

【山田センター長】

- ・新任の挨拶

3 会長挨拶

【岡田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：金井委員に依頼

4 報告事項

○第5次上越市行政改革推進計画等、各種計画策定について

【岡田会長】

報告事項「第5次上越市行政改革推進計画等、各種計画策定について」行政改革推進課、財政課より説明を求める。

【行政改革推進課 佐々木課長】

「地域協議会説明資料」により説明

【財政課 柳澤課長】

「第2次財政計画の概要」により説明

【岡田会長】

火葬場について財政計画や第5次行政改革大綱の中で何も触れられていないが、それについてどうなっているか説明をお願いします。また、財政計画の説明については承知しているが、人口減少と施設の再配置の具体策については触れられていない。その点についても説明をお願いします。

【財政課 柳澤課長】

先ほどクリーンセンター、厚生産業会館、水族博物館の3つの代表的な施設を申し上げたが、他にも大きな事業があり、その中に上越斎場も予定として入っている。財政計画では29年度から32年度の4年間で柿崎にある頸北斎場を廃止し、五智にある上越斎場に統合し、大きな施設を建設する計画である。

【岡田会長】

当初の計画によると、クリーンセンターが100億、厚生産業会館が26億、水族

館が63億である。その内容が大幅に変わってきているが、それについてどう考えているか。

【財政課 柳澤課長】

第1次計画は3年前の数字である。歳入面では国の交付税を当時のルールで算出しており、歳出面では厚生産業会館などは当時の計画数値を入れていた。その後、平成27年2月に第2次財政計画を策定したが、歳入、歳出共に最新の数字を入れ、各年度の積み上げをして表記をしている。大きな予定事業に関しては歳入、歳出ともに見込み済みである。中でも財源に関しては、国からの補助金や合併特例債の起債などを最大限計画に盛り込んでいる。

【岡田会長】

人口減少の推計は変動していて、既に20万人を割っている。第1次計画と第2次計画の税収の数値が変わっており、市税収入の見込み違いではないかと思われるが、それに対する考えはどうか。

【財政課 柳澤課長】

まず市税について、当然人口が減ると生産年齢人口に影響するため、3年前の推計をより正確に計算し直したところである。例えば法人市民税に関して、推計方法は法人税割というものがある。国の実質経済成長率を税の計算で見込んだほか、収納率を過去の平均から見込み、また、社会経済の影響も見込んでいる。そして固定資産税については、地価の下落率なども全て見込んで一つ一つ計算した結果、今の数値が出ている。決して前回の第1次計画の見込み違いということではなく、3年経過して新しい要素を入れて再計算したというように捉えていただけたらと思う。

【行政改革推進課 竹下係長】

施設について説明する。今回の公の施設の再配置計画では、施設ごとに利用実態、維持経費を中心に基礎資料とし、再配置の対象施設の抽出させていただいている。また、小中学校や保育園などカテゴリー毎に検討を進める施設があるが、特に学校については国からも手引きが示されており、将来の人口減少などを考慮しながら適正配置を慎重に検討させていただくことになる。

【岡田会長】

私が申したいのは、クラス替えができる規模の学校にしなければいけないということである。最低でも340名から500名の生徒がいなければ、学校としては認めな

いということであるが、そうすると上越市は一体どうなるのか。具体的に言うと、富岡小学校はなくなるということである。古城小学校もなくなるということである。財政だけで住民、コミュニティも関係なく全部なくしてよいのか疑問である。私は教育長に対して、そのようなことをしたら上越市の学校は今の3分の1以下になる。規模の大きな学校を分割することも考えられる。父兄の声、様々な事情というが、そうではないと思う。行政はよく考える必要があると言える。ただ数字合わせ中心のやり方は考え方として間違いだと思う。強制的にされるのは許されないことだと考える。

また、個別事業の一覧表が配布されているが、これについて説明を求める。

【行政改革推進課 佐々木課長】

今回は全体についての説明である。個別の事案については必要に応じて、後日事業所管課から説明する。もう一つの報告案件として「公の施設の使用料の減免基準の見直しについて」がある。こちらの説明についての許可を求める。

○施設使用料の減免基準の見直しについて

【岡田会長】

説明を求める。

【行政改革推進課 佐々木課長】

「地域協議会説明資料」、資料4「減免基準の見直しのポイント」により説明

【岡田会長】

10月からとのことだが、今後の予定や周知方法について教えてほしい。

【行政改革推進課 佐々木課長】

懇談会での委員の意見を元に、当課で減免基準の素案をまとめさせていただき予定である。協議会以外にも町内会長連絡協議会に対し資料の四つのポイントについては説明済みである。今後は素案を提示しつつ、関係団体等に対して素案についての意見を直接伺う場を設定し、それらを集約して減免の基準の最終案を示す予定である。その目標が10月である。10月とした理由は施設の利用料金の改定が10月であるためである。ただし、関係団体の予算が4月から執行される状況があることから、来年4月から運用を開始することもあり得る状況である。

【田中委員】

見直しについては、これで私もよいと思う。ただ、予算が決定される来年の春になってからの開始でなければと思っている。

【行政改革推進課 佐々木課長】

いただいたご意見を集約して、判断させていただきたい。

【岡田会長】

質疑がないことを確認。

— 行政改革推進課、財政課退席 —

5 議題

○地域活動支援事業について

【岡田会長】

提案状況について、事務局より説明を求める。

【恩田係長】

- ・新道区の配分額である700万に対し、1,370万7千円の補助希望額
- ・12事業の提案があり前回会議で見込んでいた提案数を大幅に上回った
- ・昨日に正副会長と事務局で協議し、ヒアリングが必要と考えられる提案事業のみヒアリングを実施する方針とした。
- ・ヒアリングを実施する事業の腹案は6事業（新-2、8、9、10、11、12）
まず方針について協議いただき、ヒアリングを実施する事業について検討、その後、疑問点の洗い出しをお願いしたい。

【岡田会長】

委員の意見を求める。

【塚田委員】

新-2のレッドファイヤーズの内容については個人的におかしいと思う。

【岡田会長】

個々の問題ではなく、まずは6つの事業についてヒアリングをすることについて審議をお願いする。

【塚田委員】

ヒアリングについては数を絞ってもよい。

【金子副会長】

12事業の提案があるが、三役の打合せでは、既に取り組んでいる事業はヒアリングを行わなくともよいだろうと話合った。

【船崎委員】

新規事業であるか継続事業であるかで判断されたのか。

【岡田会長】

例えば稲田のお達者会のような事業は市内にもたくさん事例があり、継続されている。そのような事業はヒアリングは必要ないと考えた。またグリーンラインに関して多数の実績があり、ヒアリングをしてもあまり意味がないと考えた。また新-5の歴史調査事業は継続事業であり、これについても必要ないと考えた。その結果、6事業を選定したが、皆さんの意見をお聞きしたい。

－ 委員全員が了承 －

【岡田会長】

6事業についてヒアリングを実施することで決定いただいた。これらの事業に関する疑問点の洗い出しをお願いしたい。まず新-2、富岡レッドファイヤーズについての問題抽出を行う。これはユニフォームの購入や、個人所有の物品を購入するものではなく、全体利用が可能なものを補助金で購入したい提案である。この事業についての問題点の洗い出しをお願いする。

【船崎委員】

道具が古くなったとあるが、どの程度か教えてほしい。

【塚田委員】

グローブ等は個人で用意すると思うがどうか。

【岡田会長】

折り畳みベンチや穴あきボールなどを購入予定であり、個人用の道具は予定されていない。

【船崎委員】

補助希望額が超過しているなので、用具がどの程度古いのかなどを聞いてほしい。

【岡田会長】

今回の希望物品はどの程度老朽化しているか、具体的に教えてほしいということか。

【船崎委員】

そうである。

【岡田会長】

他に質疑がないことを確認。

続いて、新-8についての質問に対しての発言を求める。

今回は法被や太鼓ではなく、保管場所に対する提案である。

【船崎委員】

このようなものについては半額で倉庫を用意するというのは難しいため、全額採択か不採択かということになるかと思う。

【岡田会長】

半分の補助で可能かと質問するのはどうかと思う。

【恩田係長】

仮に聞かれるのであれば、50パーセントや30パーセントなどといった減額割合を提示しないで、どの程度まで減額を容認し事業を実施できるかという聞き方でよいか。質問文章の素案は事務局で作文するため、皆さんの意向を確認したい。

【船崎委員】

減額案を出させるということは、採択するというニュアンスではないか。

【岡田会長】

減額された場合に対応できるかという質問をするということである。補助をするという話ではない。

【恩田係長】

僅かでも減額された場合は事業を実施できないのか、それともある程度までは譲歩できるのかということである。この質問をヒアリングの場で突然聞かれても回答いただくことは困難だろうと考えられるため、事前に質問するものである。

【船崎委員】

了解した。

【岡田会長】

質問内容について、委員の了承を得る。

続いて、新-9については祭りの用具や、子供の半纏等の購入費用の補助をお願いするものである。これについて、どのような質問をしたらよいか。

【飯塚委員】

減額したらできるのかどうか。

【船崎委員】

それは全部に当てはまることである。

【岡田会長】

要望に対して減額された場合、採択された金額で必要なものだけを揃えるかもしれない。

【保坂委員】

私の町内では法被を町内会費で負担した。

【岡田会長】

減額について質問するということで了解した。

続いて、新-10、鴨島一丁目の「あずまや」について、減額でも対応可能かということで質問するということで委員の了承を得る。

続いて、新-11である。これは神輿である。

【田中委員】

上越市の町内会長ハンドブックによると、神輿に関してはコミュニティ助成事業で助成している。

【恩田係長】

宝くじの売上を財源とした助成事業であり、多くの町内会で神輿の購入で利用されている。今回の提案書をいただいた際、宝くじの助成について検討されたかを伺ったが、地域活動支援事業に申請したいとの意向であった。

【船崎委員】

そちらに出していただきたい。こういう事業があるのだから使うべきである。

【金子副会長】

子ども神輿導入とのことだが、現在の鴨島二丁目の子どもの人数を教えてもらいたい。また、今後持続可能なのかについても教えてもらいたい。

【塚田委員】

私の町内も神輿の保管小屋を作ったところである。

【岡田会長】

この事業では神輿もそうだが、その保管場所の経費がとても高い。172万8千円であり、全体では260万円である。協議会で減額された場合、対応できるのか疑問である。それだけを聞いておけば、よいのではないか。

続いて新-12、これは450万円の案件である。これについての意見を求める。

【船崎委員】

この事業では市有地を3年契約で使用する予定であるが、3年後も引続き契約でき

るのかどうかを聞いてもらいたい。

【岡田会長】

この事業は金額が非常に大きく、先ほどの鴨島二丁目の事業も補助するとなると、他の事業はだめとなる。この事業についても、減額されてもできるのかどうかを質問したいと思う。

質問の内容について、追加意見がないことを確認し、委員の了承を得る。

ヒアリングの実施は6事業について行い、また事前に提案者に事務局から質問事項を伝え、ヒアリングに臨んでいただく。質問文章は正副会長と事務局で打合せを行うことで委員の了承を得る。

6 その他

【岡田会長】

- ・ 次回の会議日程の確認：5月8日の実施

7 閉会

【岡田会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。